

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

吉富町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県築上郡吉富町

### 3 地域再生計画の区域

福岡県築上郡吉富町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は1980年の7,749人をピークに減少傾向となり、2015年の国勢調査では6,627人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計（2019年6月）によると、2040年には4,988人（2015年比約75%）、2060年には3,965人（2015年比約60%）まで減少することが予想される。

近年、社会増減はおおむね均衡傾向にあるが、自然増減については2003年以降減少となっている。自然減の一番の要因は出生数の低下である。本町の合計特殊出生率は全国及び福岡県、また近隣市町村の平均よりも高い数字で推移しており、出産子育てに対する施策も従前より充実強化を図っているところであるが、ライフスタイルの変化や若年人口の減少などにより、自然減が続いている状況である。また、社会動態は均衡傾向にあるものの、将来的には自然減と併せて減少が予測されている。

一方、消費の流出も顕著であり、2013年のRESAS・地域経済循環図によると、民間消費額のうち実に29億円が町外へ流出していることが分かる。また、雇用者所得の約3割が町外からの流入であり、町外で収入を得、町外で消費しているという構図が浮かび上がる。

人口の減少や消費の流出が将来的にこのまま続くと、現在の住環境や地域コミュニティの衰退を招き、安全安心の生活や災害時の適切な対応が困難になるほか、各産業の先細りも免れず、将来にわたり持続可能な住み続けられる町づくりの実現は

不可能となる。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・出産・子育ての希望の実現に向けてこれまでも重点的に取り組んできた「子育て支援施策」及び「子ども教育向上施策」の更なる充実を図り、「安心して子どもを育てられるまち」としての魅力をアピールすることで自然増につなげる。また、本町のポテンシャルを活かした情報発信や、町とのつながりのある人たちとの交流人口・関係人口の拡大策を図るとともに、移住・定住の受け皿となる住宅を提供できる環境づくりに向けた施策を展開すること、地域の資源を活かした町のブランド製品の創出や新たな起業・創業の支援及び事業者の誘致を推進し、若い世代等の定住を支えるための雇用環境を創出すること、九州で最も小さいという町の特徴を生かして、町内の地域コミュニティや立地企業等との多様な連携を活用しながら、「健康で安心して暮らせるコンパクトなまち」として、誰もが暮らしやすい環境整備を促進することにより、転出の抑制及び転入の促進を目指す。

これら移住・定住施策の積極的な推進、安心して子どもを育てられるまちづくりなどの施策に取り組むことにより、安定した人口の維持・増加を実現する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 新しいひとの流れの創出
- ・基本目標 2 継続した子育て全力応援のまちづくり
- ・基本目標 3 安定したしごとづくり
- ・基本目標 4 暮らし続けることのできるまちづくり

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	人口の社会増数(単年度)	14人	50人	基本目標 1
イ	合計特殊出生率	1.72	2.00	基本目標 2
ウ	新規創業者・就農者数(累計)	16人	50人	基本目標 3
エ	健康寿命	男性65.0年	男性66.6年	基本目標 4

		女性66.9年	女性68.5年	
--	--	---------	---------	--

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

吉富町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 新しいひとの流れを創出する事業

イ 継続した子育て全力応援事業

ウ 安定したしごとづくり事業

エ 暮らし続けることのできるまちづくり事業

#### ② 事業の内容

ア 新しいひとの流れを創出する事業

効果的なプロモーションによる町の認知度向上、地域資源を活用した魅力あるイベントの実施などを行い、町の魅力を広く発信する。さらに、町出身者や町に関心のある町外者とのつながりを築くとともに、移住者向けの支援策や受け皿となる住宅の充実化を図り、町への移住定住についての関心を高め、移住定住を促進する。

#### 【具体的な取組】

- ・ JR 吉富駅前「交流マルシェ」の開催
- ・ 民間事業者とのタイアップによる空家活用支援 等

イ 継続した子育て全力応援事業

結婚・出産・教育など子どもが社会人として自立するまでの継続した子育て支援を進め、「オール吉富町」で子育て全力応援のまちを目指す。また、町全体を「家族」ととらえ、町ぐるみで家族を育むまちとして、地域住民との協働による、地域の教育の推進、地域の居場所づくりを広

げる。また、女性が活躍できる機会を推進するとともに、働きながら子育てができる、ワーク・ライフ・バランス等を重視した男女共同参画社会の環境づくりを進める。

**【具体的な取組】**

- ・切れ目のない子育て支援の充実
- ・子育て世帯の負担軽減 等

**ウ 安定したしごとづくり事業**

ブランド産品としての農水産物を開発し、プロモーション・販路拡大を行うとともに、人材の育成・確保を図る。また、チャレンジショップや空家等を活用した創業支援、経営塾の開催、地場産業のイノベーションを通じ、創業者の発掘、多様な働き方の実現、安定した雇用環境の創出を図る。さらに、将来の働き手となる子どもが仕事への学びを深めるための事業を展開する。

**【具体的な取組】**

- ・チャレンジショップの出店促進・運営
- ・事業者誘致の推進 等

**エ 暮らし続けることのできるまちづくり事業**

、町民の誰もが暮らし続けることのできる「健康・安心」社会を目指し、町民一人ひとりの健康づくり促進する。また、町民の暮らしの基盤となる道路や交通環境を向上させるとともに、官民連携による防犯等に対する安全・安心なまちづくりを推進し、町内在住者の転出を抑制することで、町への定着を図る。

**【具体的な取組】**

- ・健康づくりの推進
- ・道路の安全対策の実施 等

※なお、詳細は第2期吉富町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の数値目標に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

50,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度3月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証結果については、検証後速やかに吉富町公式ホームページにて公表する。

⑥ **事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 **その他の事業**

該当なし

6 **計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで